

森っ子フェスタ お世話になりました

～楽しかった 地域ふれあい活動～

19日(日)に実施の森っ子フェスタ(地域ふれあい活動)には、多数の来校ありがとうございました。好天に恵まれ何よりの日でした。

下の写真で紹介する活動を含めて、10の活動が準備され、多数の地域協力者の方々、また保護者の皆さんの指導を受けながら、楽しい体験活動が行われました。子どもたちの楽しそうな、また真剣に取り組む姿が印象的でした。改めて、「地域のたくさんの皆さんに支えられている学校、子どもたち」であるということを強く感じた1日でした。大変お世話になりました。これからも森っ子を宜しく願います。



ティッシュカバー作り



測量体験



わらじ作り



水鉄砲づくり



折り紙



絵手紙

うれしいクリスマスプレゼント

～ 学校にクリスマスツリー ～



黒木PTA会長さんを中心とした向高地区の方々が、もみの木を使ったクリスマスツリーを設置して下さいました。児童玄関のホールに飾っています。

本物のもみの木で作ってありますので迫力があります。ありがとうございました。

目口耳・・・何のためにある？

腰塚勇人(こしづかはやと)さんのことをある本を読んで知りました。大学を卒業して中学校の体育教師になりましたが、37歳の時にスキーをしていて首の骨を折りました。奇跡的に一命は取り止めたが医師からは「寝たきりか、良くても車椅子の生活」という宣告を受け、絶望のあまり自殺未遂をしたそうです。

その後、妻や両親、主治医、生徒、看護師などの多くの人たちに励まされ、奇跡的な回復を遂げ、体の一部に障がいが残ったものの、4ヵ月後には中学校3年生の学級担任をするまでになったそうです。今は教職を離れて「命の授業」の講演活動をしておられます。腰塚さんが語る「5つの誓い」を紹介します。



「口」は・・・人を励ます言葉や感謝の言葉言うために使おう

「耳」は・・・人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう

「目」は・・・人のよいところを見るために使おう

「手足」は・・・人を助けるために使おう

「心」は・・・人の痛みがわかるために使おう

「口」「耳」「目」「手足」「心」は、それぞれに本来の役割がありますが、その役割に腰塚さんが語る役割を含めておけば皆から信頼される人になれると思います。また、世の中の多くの人がこんな考え方を持っていれば、きっと明るく暮らしやすい社会になるのではと思います。

なかなかできないことですが、心のどこかに留めておきたい「5つの誓い」だと思っています。

12月 主な行事予定



- 1日(金) 小中合同あいさつ運動
廊下歩行の日
- 6日(水) ふれあい給食
- 8日(金) 参観日、持久走大会
- 10日(日) 青少年健全育成町民大会
童謡祭 9:00～改善センター
- 13日(水) 善行児童表彰集会
- 19日(火) 給食感謝集会
- 21日(木) 登校班長会
- 22日(金) 2学期終業の日、大掃除
- 23日(土) 天皇誕生日
- 25～1/8 冬休み
- 28日(木) 御用納め

1月9日(火) 3学期始業日

最高の音楽大会

四年 宮田 莉々華

先日、音楽大会がありました。わたしは待っている間、まちがえないかどきどきしました。

そして、ぶたいに出了た時、正面を見るとたくさんの方がいて、とてもきんちようしました。合しようでは、みんなで合わせて歌いました。

次に、合そうをしました。練習の時は、ずれたりちよつと速かつたりしました。

でも、本番はみんなリズムにのつて全部の楽器がずれずにえんそうできました。

そして、終わった後、たくさんの人に大きな手をもらいました。とてもうれしかったです。わたしが一番すごかったと思つたのは、木脇小でした。いろいろな人がふりをつけてリズムにのつていました。

家に帰つたら、お母さんが「上手だったね」とほめてくれました。それを聞いて、わたしは、四年生が中心になつて昼休みも練習して、分らない三年生に教えてあげたからかなと思ひました。



次の日、校長先生から手紙をいただきました。後の方に花丸があり、みんな大喜びでした。最高の音楽大会になりました。

ニュースを知つて

六年 平山 蒼流

ぼくが最近のニュースで気になつたのは宮崎市の小学六年生の愛甲雅治君が九月に行われたボウリングの公式戦で、十二投すべてストライクをとるパーフェクトゲームを達成したというニュースです。

ぼくが、このニュースを知つて、すごいなあと思つたことは、このボウリングでの公式戦では、県内に小学生はもちろん、中学生でも達成したことはないということです。

そして、もっとすごいことは、昨年、愛知県であつた全国大会で小学五年生の部でも優勝し、今年の八月の全国大会六年生の部でも三位に入つたことです。プロでも最高スコアは三百点で、そこに並ぶことができた愛甲君は、何回も何十回も練習してきたんだらうと思ひました。

今までぼくは、「どうせ日本一なんて無理やる。」と思つていましたが、何回も何十回も練習することによつて、県内で一位や日本一になれるんだなあと思ひました。

このニュースのおかげで、ダンスの練習をがんばらうと思ひました。



二番穂刈り

四年 陶山 静杜

先日、二番穂刈りがありました。今年は去年とはちがう田んぼでありました。早くいねをかりたくて、始めの会でうずうずしていました。

始めの会が終わつて、かまをもらうといねをかりたいという気持ちが強くなり、だれよりもいねを多くかうと心の中で思つていました。

いねをかる時がやってきました。一たばかりと手がどんどん進んでいきました。辺りを見回してみると、みんなすごい早さでいねをかつていたので、さすがだと思ひました。負けてられないと思ひ、やる気がアップしてきました。あまりに集中してしまつて、しげみに入るところでした。

ぼくたちが一生けんめいかったいねは、鹿児島県の出水市にわたつてくるつるにあげることになつています。つるにおいしく食べてほしいです。

りっぱなつるになつて、また食べたいと思つてくれるとうれしいです。

楽しくも一生けんめいできた二番穂刈りでした。

